



神戸市議員 (須磨区) せいいち むらの誠一 33才

人は人の為に尽すを以って本分とすべし

曾祖父 村野山人 (神戸村野工業高等学校創立者)
の遺志を継ぎ政治家を志す

所属政党 無所属

所属党派 自民党市議員団

所属委員会 港湾交通委員会 (副委員長)
大都市税財政制度確立委員会

経歴

- ・昭和49年2月2日 神戸市須磨区に生れる
- ・須磨浦小学校 卒業
- ・高倉中学校 卒業
- ・とび職として働きながら、大学入学資格検定取得
- ・芦屋大学(教育学部) 卒業
- ・兵庫県議会議員 故 伊田 宏 秘書
- ・衆議院議員 砂田圭佑 秘書
- ・平成15年 神戸市議員選挙 初当選

水道メーター検針業務、民間へ！

質 むらの議員

平成18年度予算特別委員会 (水道局)

水道メーター検針業務については、水道公社の費用の7割は人件費であることからコスト削減の為の競争性の導入や民間委託をすべきとの指摘がある。現在、公社は検針コスト削減の為、民間の派遣社員を検針員に活用しており、一人年額160万～180万円と聞いている。しかし常勤嘱託では、一人年額420万円ということであるが、同じ仕事でこの給与の差はどういうことなのか？これだけ見ても民間に任せの方がコストが押さえられると思いますが、一般市民が納得のいく説明をお願いします。



答 水道局総務部長

品質や信頼性の確保の観点から、価格が安いというだけでは、民間事業者へ委託するわけにはいかないが、メーター検針業務の一部について、平成19年度へ向け、競争性を導入する方向で考えております。

(議事録要約抜粋)

ピフレホールなどの予約制度、変更へ！

質 むらの議員

平成17年度予算特別委員会 (生活文化観光局等)

現在、区民センター・ホールというのは6カ月前からの予約エントリーでなおかつ抽せんです。(神戸文化ホールは別)

1年前から綿密に計画しても、6カ月前にならないと予約がとれません。しかも、抽せんです。もしはずれてしまったら、すべて今までの計画を変更しなければなりません。これは本当に使いにくい予約制度だだと思います。1年前ぐらいから予約できるような、もっと使いやすい制度にならないのかお聞きします。

答 生活文化観光局長

イベントをする場合には、かなり前から準備が必要であると思いますし出来るだけ早く日が決まれば、それなりのPR、人集めの準備が出来ますので内部で是非変更できるように検討していきたいと思っております。(議事録要約抜粋)

2006.3.14 朝日新聞

「検針」一部民間へ

市水道局が07年度から

市水道局は十三日の市会予算特別委員会で、市の外郭団体に委託している水道メーターの検針業務について、二〇〇七年度から一部を民間に開放する方針を示した。〇六年度は委託する業務の内容及び範囲を検討する。同局は八八年から検針にまで引き下げていた。しかし、検針業務を専門で行う業者が登場するなど、よりコストの低い民間参入を認める動きが全国で活発化し、同局も〇七年度から業務の一部開放を決めたという。

2005.3.11 神戸新聞

市内9ホールの利用

1年前から

申請可能に

神戸市生活文化観光局は十日の市会予算特別委員会で、勤労市民センターと区民センターのホールについて、利用申請の受付日を現行の六カ月前から前倒しする方針を明らかにした。開催準備に要する時間を考慮したもので、一年程度前に延長する見込み。開催日の半年前にあたる月の初日に申し込みを受け付ける現行制度では、詳細な計画が立てられないほか、抽選に外れればそれまでの準備が無駄になるケースもあったという。

そのため同市は、出演者のスケジュール調整や催しのPRなどの時間を確保するため一年程度前倒しする。市内の九ホールが対象となり、キャンセル料などを設定して市民にPRする。変更時期について町本欣信局長は「〇五年度のなるべく早い時期に変更できるように検討したい」と述べた。

政治家は癒着を断ち切れ！

むらの誠一は特定の企業・団体からの献金を一切頂いておりません。

つづく